ジョイフル城北
スマイル城北

令和７年度 学校だより
ジョイスマ
令和７年６月30日
熊本市立城北小学校
校長

すばらしい城北校区地域の力！

５月のジョイスマでは、民生児童委員や交通安全協会の方々の紹介をしました。今回も城北小学校校区の方々の別の活動を紹介します。まずは、１年生と2年生が毎週火曜日に行っているフッ化物洗口（写真右）についてです。熊本市の施策に虫歯予防があります。熊本市は政令指定都市の中でも虫歯の保有率が高いため、数年前から小学校低学年でのフッ化物洗口が始まりました。城北小では令和5年１月から始まりました。このフッ化物洗口で必要なのが薬剤の準備やうがいをした後の紙コップ等の処理です。この準備や後処理をしていただくのが、4町内の宮田自治会長をはじめ地域の方です。１年生の子どもの中には、幼稚園・保育園ですでにフッ化物洗口を経験していた子どももいます。フッ化物洗口が行われる効果的な理由として3つあるそうです。

（１）フッ化物が歯に取り込まれ、歯の質を強く丈夫にする。
（2）むし歯菌の働きを弱める。
（3）再石灰化を促進し、初期むし歯を修復する。

１年生も2年生も適量のフッ化物が入った洗口液を口に含み、約１分間ブクブクうがいをしています。来年度の歯科検診で少しでも子どもたちの虫歯が減るといいと思います。加えて、食後の歯磨きをすることも忘れずに取り組んでほしいです。

もう一つ紹介したいのが朝の読み聞かせ（写真左）です。この活動を行っているのが読み聞かせボランティア「ななつ星」です。本年度も木曜日の朝の時間に数名のメンバーが来校され、今回は3年生と4年生というように学年を計画的に回られています。低学年に限らず子どもたちはみんなこの読み聞かせが大好きです。絵本のページを見せながら読みきかせが進んでいきます。そのときの子どもたちの様子は目を輝かせながら、集中して食い入るようにお話を聞いています。子どもたちは、お話を聞きながら、それぞれが想像し、イマジネーションの世界が広がっているのだと思います。城北小学校や子どもたちは、このように校区にあるいろいろな団体から、それぞれの立場で多面的に支えられています。地域の方々のたくさんの力に感謝します。ありがとうございます。